

(報道発表資料)
令和8年9月18日
北九州市保健所保健企画課
(担当:吉野、河崎)
電話:093-522-5721

報 道 機 関 各 位

麻しん患者の利用施設について

令和8年9月17日に福岡市が公表した麻しんの患者が、他の方へ感染させる可能性のある期間中に、北九州市内の施設等を利用していたことが判明しました。当該施設等を利用した方への注意喚起のためお知らせします。

1 患者が利用し不特定多数の方と接触した可能性のある施設等

利用日	時間帯	利用した施設等
9月12日(土)	12時頃～13時頃	JR 鹿児島本線 博多駅～スペースワールド駅
	13時頃～16時頃	THE OUTLETS KITAKYUSHU
	16時頃～17時頃	イオンモール八幡東
	17時頃～18時頃	JR 鹿児島本線 スペースワールド駅～博多駅

※ 現時点において当該患者が利用した施設等を後から利用されても、当該患者を原因として麻しんウイルスに感染することはありません。

※ 施設へのお問い合わせは御遠慮ください。

【上記日時に当該施設を利用された皆さまへ】

- 施設を利用した日から21日間は、発熱等の健康状態に注意してください。
- 37.5 度以上の発熱・かぜ症状・発疹等麻しんを疑う症状があった場合は外出を控えていただき、医療機関を受診される前に、必ず保健所に連絡し、指示に従ってください。(北九州市保健所保健予防課 TEL:093-522-8764)
- 医療機関を受診される際には、「麻しん患者と接触した可能性がある」旨を事前にお伝えいただき、マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けてください。

《麻しん(はしか)について》

➤ 麻しんとは

麻しん(はしか)は、麻しんウイルスによる感染症です。感染力がきわめて強く、麻しんの免疫がない集団に 1 人の発症者がいたとすると、12～18 人の人が感染すると言われています(インフルエンザでは 1～2 人)。ほぼ 100%の人に症状が現れますが、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

➤ 症状

麻しんウイルスに感染して 10～12 日後に、発熱や咳などの症状が現れます。38℃前後の発熱が2～4日間続き、倦怠感、上気道炎症状(咳、鼻水、くしゃみなど)、結膜炎症状(結膜充血、目やに、光をまぶしく感じるなど)が現れて次第に強くなります。

発疹が現れる1～2日前ごろに口の中の粘膜に1mm程度の白い小さな斑点(コプリック斑)が出現します。コプリック斑は麻しんに特徴的な症状ですが、発疹出現後2日目を過ぎるころまでに消えてしまいます。

コプリック斑出現後、体温は一旦下がりますが、再び高熱が出るとともに、赤い発疹が出現し全身に広がります。発疹出現後3～4日で回復に向かい、合併症がない限り7～10日後には主症状は回復しますが、免疫力が低下するため、しばらくは他の感染症に罹ると重症になりやすく、体力などが戻るのに1か月くらいかかることも珍しくありません。

麻しんに伴って肺炎、中耳炎、脳炎などさまざまな合併症がみられることがあります。特に脳炎は、頻度は低い(1000 人に1人)ものの死亡することがあり、注意が必要です。

※修飾麻しんについて

麻しん含有ワクチンを1回接種している場合など、麻しんに対する免疫が不十分である人が麻しんに感染し、軽症・非典型的な症状が出た場合を「修飾麻しん」と言います。発熱期間が短い、微熱、咳、鼻水、結膜炎などが少ないなど症状は通常の麻しんより軽症で、感染力も典型的な麻しんと比較すると低いとされていますが、感染を広げる可能性はあります。

➤ 感染防止のポイント

麻しんは、空気感染を起こし感染力がきわめて強いことから、手洗いや一般的な(布・不織布などの)マスクのみでの予防は十分ではありませんが、予防接種(ワクチン接種)を2回行うことによって、95%以上の人が免疫を獲得し、予防することができます。

予防接種は、自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも有効です。

医療・教育関係者や、海外渡航を計画されている方は、麻しんの罹患歴や予防接種歴を確認し、明らかでない場合は予防接種を検討してください。

麻しんの予防接種歴がない方で、発熱、咳、鼻水、眼球結膜の充血等 麻しんに特徴的な症状が現れた方は、事前に医療機関に電話で連絡し、指示に従って受診してください。

その際、症状出現日の10～12日前(感染したと推定される日)の行動(海外の流行地や人が多く集まる場所へ行ったかどうか等)について、医療機関にお伝えください。

注意!

感染力が極めて高い

麻疹(はしか)

感染拡大しています



症状

感染約 10 日後に発熱や咳などの風邪症状が現れ、2～3日熱が続いた後、**39 度以上の高熱と発しん**が出現します。

感染経路

空気感染等によりヒトからヒトへの**感染力は非常に強い**です。発症日の1日前から解熱後3日間まで感染力があります。



皆様へのお願い

- ・麻疹を疑う**症状がある場合、外出を控え、受診する際には事前に医療機関に電話し、なるべく公共交通機関の利用を避けてください。**
- ・麻疹の感染拡大防止のため、接触者等への**行政による調査にご協力**ください。
- ・お子様が**1歳または就学前1年間**にある場合、積極的に早期の接種をご検討ください。
- ・定期接種の**接種歴を確認**いただき、**2回のワクチン接種の検討***をお願いします。
※今回の流行の中心である10～40代の方は特にご検討ください。
- ・妊娠中に感染すると早産や流産のリスクがあるため、**妊娠前の接種を検討**ください。
- ・**免疫不全のある方**は、主治医の方と相談の上、**接種を検討**ください。
- ・**乳幼児**は、肺炎や脳炎を起こすリスクがあるため、**家族の接種歴を確認**ください。

詳しくは、厚生労働省WEBページをご覧ください

 **厚生労働省**

感染症対策課 2026年4月 作成

